

市民文化部

広聴	V - 1
市民相談	V - 2
消費生活行政及び計量行政	V - 3
市民活動	V - 5
住民組織	V - 6
地区市民センター	V - 7
文化振興	V - 12
生涯学習	V - 13
文化会館	V - 15
泗翠庵	V - 18
都市提携	V - 19
(財)四日市国際交流協会	V - 21
四日市市国際共生サロン	V - 22
男女共同参画施策	V - 23
戸籍・住民記録	V - 25
住居表示整備事業	V - 26
四日市地域総合会館あさけプラザ	...	V - 27

広 聴

市政を円滑に推進するにあたって、住民とのコミュニケーションを密にすることがますます重要視されているが、面談、文書、電話、電子メール及びファックス等による市民からの意見、提言等を随時受け付けるほか、次のような広聴活動を展開している。

- 市民対話事業

市長をはじめ市の幹部が、直接、市民の市政に対する提案、提言等を聴き、市民の声を市政に反映させる。毎月1回（議会開催中は除く）実施。

- グループ対話事業

市長が市内で活動するグループとその活動する場所に出向き対話し、意見、提言等を市政に反映させる。

- 地域対話事業

市長をはじめ市の幹部及び地区市民センターと地域で活動する団体が地域住民の生活に密着した課題について率直に話し合い、その中で意見、要望等を市政に反映させる。平成16年度は23地区で実施した。

- 市政アンケート事業

市政に対する市民の意識や要望などを調査し、市政に反映させるため、市民3,000人を対象に市政アンケートを毎年実施している。平成16年度（第32回）は、市の取り組みに対する重要度、満足度等をテーマに9月に実施し、回収率は35.8%であった。なお、集計結果は「広報よっかいち」や市ホームページで公表している。

- インターネットアンケート「市政ごいけんばん」事業

平成16年度からの新規事業。各部局から時期を選ばず、タイムリーに調査をし、市民の声を迅速に把握することができるよう、あらかじめ登録されたモニターに対し、インターネット等を活用したアンケート調査を実施した。平成16年度は、調査テーマとして市民生活、子育て支援等に関して年間6回アンケートを実施した。なお、集計結果は市ホームページで公表している。

- 市政への提案箱

市ホームページに開設されている「市政への提案箱」は市民からの電子メールによる市政に対する意見の窓口である。回答の必要なメールについては担当課に回答を依頼している。平成16年度の提案件数は200件であった。

- 市民広聴会事業

市の重要政策の立案にあたり、検討段階で市民に内容を説明するとともに、政策に対する市民の意見を市長及び担当部局が直接聴き、議論できる場としている。

市民相談

市民相談室は、市民の市政に対する提言、意見、要望や苦情をはじめ、日常生活で起こる各種の問題の相談に応じ、市民の不平や不満を解消して、市民と行政に携わるものとのコミュニケーションのパイプとしての役目を果たすことを目的としている。また、毎月定期的に特別市民相談(弁護士による法律相談)も実施し、年間3,709件の相談を処理した。

また、各機関の協力を得て、公証人による遺言・各種契約・離婚などの相談、司法書士による賃貸トラブルなどの相談及び行政相談員による行政相談を実施している。

● 市政に関する相談（市民相談分）

（平成16年度）

部 局	件 数	主 な 内 容
市長公室	4	政策、統計
総務部	15	行政一般
財政部	23	税務一般
市民部	594	戸籍、住民登録、住居表示、年金、国民健康保険等
保健福祉部	109	介護、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、保健事業等
商工農水部	20	中小企業融資、商業一般、農水、水産、畜産、農地、耕地
環境部	124	悪臭、騒音、清掃、予防衛生等
都市整備部	116	区画整理、開発許可、都市計画街路・道路維持補修、側溝、河川
下水道部	11	都市下水、公共下水
市立病院	3	病院業務一般
市議会	1	議会業務一般
教育委員会	15	学校教育、青少年対策
水道局	3	水道業務一般
消防本部	3	消防業務一般
その他	0	その他業務
合 計	1,041	

● 市政以外の相談

内 容	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
国の所管に関するもの	101	73	94	84	52
県の所管に関するもの	25	16	32	20	35
民事の要素を有するもの	1,293	1,469	1,772	1,488	1,629
家事の要素を有するもの	1,020	1,206	1,210	1,016	952
合 計	2,439	2,764	3,108	2,608	2,668

● 特別市民相談

種 別	件 数	主 な 内 容
法律相談	179	家事、民事、その他の法的な問題についての弁護士相談
公証相談	101	遺言、各種契約、離婚などの公証人による相談
司法書士相談	282	金銭貸借や賃貸トラブル、相続などの司法書士による相談
行政相談	3	行政の仕事についての苦情や困りごとの相談
合 計	565	

消費生活行政及び計量行政

● 消費生活行政

市民からの消費生活に関する相談等を迅速に処理するとともに、生活情報提供の場として昭和 47 年 6 月より「四日市市消費者センター」を開設している。相談件数は平成 16 年度において 5,066 件（前年度比 469 件増）であった。

相談の大勢を占める特殊販売のうち、訪問販売、マルチ商法などの相談件数は、前年度並あるいは微減であったのに対し、通信販売は、前年度比 1,432 件増の 3,539 件となり、全相談件数の 7 割を占めている。この増加の原因は、平成 15 年度から激増した悪質な手口である架空請求・不当請求とよばれるものが、未だ根強く残り、はがきやインターネットメールを介して行われたためである。

市では、これら相談の状況を踏まえながら「消費生活出前講座」を随時実施し、さまざまな悪質商法についての解説をし、消費者被害の未然防止に努めている。前述の架空請求・不当請求については、新たに「消費生活ワンポイント講座」を行い、啓発に努めた。また、消費者意識の啓発、高揚さらに消費者への情報提供のため、『広報よっかいち』へ消費生活におけるトラブルの情報を掲載するなどしている。その他、消費者の自立と主体性を確立していくために、「消費者教育講座」や「消費生活展」を四日市消費者協会に委託し、開催している。

● 年度別消費者センター相談件数

※ 平成 15・16 年度の問い合わせ通信販売件数には、別紙問い合わせ(架空請求)を含む

			12 年度	13 年度	14 年度	15 年度※	16 年度※	
相談件数 合計			2,131	2,360	2,985	4,597	5,066	
方法	文書相談		2	2	2	3	15	
	来所相談		203	254	415	720	1,047	
	電話相談		1,926	2,104	2,568	3,874	4,004	
種別	苦情	一般	店舗	540	564	732	735	503
		特殊販売	訪問販売	421	380	685	526	368
			通信販売	77	346	701	1,335	1,348
			マルチ商法	50	39	74	52	50
			電話	221	269	293	283	204
			ネット型オプション	7	8	24	9	11
			その他	92	52	28	85	19
			不明	358	332	243	522	166
	計	1,226	1,426	2,048	2,812	2,166		
	苦情 合計		1,766	1,990	2,780	3,547	2,669	
	問い合わせ	一般	店舗	82	50	29	60	51
		特殊販売	訪問販売	40	25	18	15	9
			通信販売	26	60	8	772	2,191
			マルチ商法	16	10	2	7	4
			電話	31	21	5	3	3
ネット型オプション			4	0	0	2	0	
その他			13	11	4	23	1	
不明			153	193	139	168	138	
計	283	320	176	990	2,346			
問い合わせ 合計		365	370	205	1,050	2,397		
談者(相)	性別		男	762	850	1,124	2,141	1,949
			女	1,369	1,456	1,666	2,301	3,045
			団体	0	54	195	155	72
者(地域別)	地域別		市内	1,574	1,893	2,478	3,769	4,704
			市外	554	457	507	828	362
			不明	3	10	0	0	0

● 計量行政

昭和 40 年 4 月に計量法による特定市の指定を受け、計量器の定期検査・立入調査・量目検査等を実施している。平成 16 年度には、675 戸の検査戸数(検査台数 2,882 台)があり、そのうち民間計量士による代検査は、329 戸の検査戸数(検査台数 1,731 台)にのぼっている。

また、事業者に対し、適正な計量の実施を確保すべく監視指導を徹底するとともに、消費者保護の立場から一般消費者参加の試買量目調査を実施し、消費者に計量に対する認識を高めてもらうことにより、計量思想の普及啓発に努めている。

市民活動

「市民活動」の活性化に努め、市民が主役のまちづくりを推進していく。

● 市民活動センター

市民活動に関心のある市民、市民活動を実践している市民や団体が自由に利用できる施設として、平成11年5月、なや学習センター内に開設した。市民活動の促進、多様な市民活動団体の育成、団体同士の交流による市民活動団体の活性化などを目的とし、本市の市民活動の発展のための拠点となっている。平成13年7月から、センターの機能をより一層高めるため市民活動団体(NPO法人)へ管理運営を委託している。

1. 市民活動センターの概要

- (1) 開所 平成11年5月1日
- (2) 所在地 四日市市蔵町4-17(なや学習センター 2階)
- (3) 面積 123.75 m²
- (4) 休館日 12月29日～1月3日、毎月第2月曜日(祝日にあたる場合はその翌日)
- (5) 開館時間 午前9時～午後9時

2. 市民活動センターでできること

- (1) パソコン(2台)、印刷機(マスター1枚100円から)、コピー機(1枚10円)、紙折り機、貸ロッカー(32)、レターケースを使った団体活動の作業
- (2) フリースペースを使った打合せや事務作業
- (3) 資料掲示コーナー等での市民活動に関する情報の収集や発信
- (4) 本の閲覧、貸し出し
- (5) 市民活動全般やNPO法人設立、団体の経理・運営に関する相談

● 市民活動ファンド

公益にかかわる活動を行う市民活動団体を支援し、本市の市民活動をより活発にすることを目的として、平成12年に設立された。平成17年度から、個性あるまちづくり支援事業のNPO法人向けに活用することとし、市がファンドへ出捐を行った。

補助額	補助率	応募団体	採択団体
50万円限度	9/10	8団体	7団体

【採択した事業の主な内容】 ()内は団体数

防犯(1)、中間支援(2)、居場所づくり(1)、環境(2)、その他(1)

● 個性あるまちづくり支援事業

平成16年度より住民による先駆的で夢のある自主的な公益活動を支援するため、「個性あるまちづくり支援事業」を創設した。

種別	補助額	応募団体	採択団体
① 立ち上がり期	100千円限度(補助率10/10)	13団体	11団体
② 立ち上がり期以外	1,000千円限度(補助率50万円以下9/10 50万円超 2/3)	49団体	42団体

【採択した事業の主な内容】 ()内は団体数

里山保全(5)、子育て支援(5)、障害者・高齢者支援(3)、人権文化(3)、環境・ゴミ対策(10)、歴史・文化(4)、まちづくり(3)、*防犯(12)、その他(8)

*なお、多数応募のあった「防犯活動」団体により「四日市市地域防犯協議会」を組織し、団体間の情報交換ネットワークづくりへと展開している。

住民組織

市は各地区連合自治会と広報連絡(各種広報文書の組回覧、各種啓発ポスターの掲示)等の事務について委託契約を結び、市政への協力を求めている。

● 自治会の組織(平成 17 年 4 月 1 日現在)

- ・町自治会数 703
- ・町自治会組数 7,739
- ・地区連合自治会数 28
- ・地区連合ブロック数 6(ブロック代表 各 1 名)
- ・自治会加入世帯数 99,000
- ・自治会加入率 85.8%

● 委託料

(平成 17 年度)

区 分	単 位	委託料 (年額)
地 区 連 合 自 治 会 長	1 人	72,000 円
地区連合会自治会長調査研究費	1 人	10,000
町 自 治 会 長	1 人	54,400
町 数 割	1 町につき	2,080
世 帯 数 割	1 世帯につき	116
自治会長研修会費	1 人	1,800
ブ ロ ッ ク 調 整 会 議 費		582,400

● 連絡員制度

市長が委嘱した市連絡員(平成 17 年 4 月現在 376 名)の職務は、週 2 回以上市役所、楠総合支所または各地区市民センターに登庁し、市から出される各種文書類の配布を行っている。

地区市民センター

住民の自主的な地域社会づくりを目指し、活発な地域活動を醸成するための施策として、昭和 53・54 年度に全市 22 地区(本庁管内を除く)のうち 9 地区を地区市民センターとして試行し、施設整備や学校開放事業等を進めてきた。

このような背景のなか、広報広聴活動や社会教育活動を通じて地域社会づくりに対する市民意識の高揚や地域活動の助長に努めてきた結果、市民の間で次第にその気運が高まってきた。こうした状況に対応するため、昭和 55 年度から全地区(本庁管内を除く)を地区市民センターに移行させ、さらに昭和 56 年度には、本庁管内についても中部地区市民センターを発足させ、市民と行政が一体となった地域社会づくりを推進してきている。

● 地区市民センターの概要

従来の出張所と公民館を施設的、機能的に一体化し、住民と行政の接点、あるいは住民相互の出会いの場として地域社会づくりの拠点となるよう位置づけている。また、センターの業務は、①地域振興業務 ②社会教育業務 ③窓口業務の 3 つからなっており、地域行政を推進する拠点として地域課題の解決や各種講座など自主事業を実施している。

センターが発足して四半世紀が経過するなかで、センターを拠点とするグループ・サークル活動も盛んになり、各種団体の活動や団体相互が連携した地域ぐるみの活動も定着している。地域住民の発想による活動が地域づくりの原点であり、平成 15 年度から各地区市民センター内に団体事務局を設置し、「地域社会づくり総合事業費補助金」による財政面での支援を行っている。また、平成 16 年度から民間で培われたノウハウを活かしたまちづくりが行えるよう地域マネージャーを 4 地区に配置した。17 年度はさらに 8 地区に配置し、18 年度には全地区配置を予定しており、市民主体のまちづくりの推進に努めている。

● 地区市民センター施設状況

施設名 (TEL)	所在地	設置建設 年月日	構造	面積		概 要
				敷地	建物延	
富洲原地区 市民センター 65-1136	富洲原町 31-46	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 56.10.20	RC造 2F	m ² 2,025.32	m ² 672.50	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
富田地区 市民センター 65-1141	富田一丁目 24-47	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 41. 3.31 増改築 S. 57. 3.31	RC造 2F	1,070.61	1,111.52	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
羽津地区 市民センター 31-4465	大宮町 13-12	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 54. 3.31	RC造 3F	1,120.89	667.23	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
常磐地区 市民センター 51-1751	城西町 8-11	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 57. 3.31 増改築 H. 4. 3.31	RC造 2F	2,637.54	772.32	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室

施設名 (TEL)	所在地	設置建設 年月日	構造	面積		概要
				敷地	建物延	
日永地区 市民センター 45-3197	日永西 三丁目 2-18	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 55. 3.31	RC造 2F	m ² 2,383.65	m ² 656.84	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
四郷地区 市民センター 21-2021	室山町 645 - 1	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 54. 3.31	RC造 2F	3,034.92	798.39	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
内部地区 市民センター 45-3951	采女町 857 - 1	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 47.10.20 増改築 S. 58. 3.31	RC造 2F	1,803.17	738.94	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
塩浜地区 市民センター 45-2403	塩浜本町 一丁目 1	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 58.10.14	RC造 2F	1,323.76	638.66	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
小山田地区 市民センター 28-1001	山田町 1373 - 3	設置 S. 54. 4. 1 建設 竣工 S. 54. 3.31	RC造 2F	7,551.23	594.06	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
川島地区 市民センター 21-3020	川島新町 1	設置 S. 54. 4. 1 建設 竣工 S. 61. 9. 3	RC造 2F	2,504.41	653.00	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
神前地区 市民センター 26-2751	高角町 2977	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 56. 3.31	RC造 2F	1,827.00	587.01	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
桜地区 市民センター 26-2051	桜町 1399	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 60. 9.18	RC造 2F	2,222.36	702.40	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
三重地区 市民センター 31-3276	東坂部町 71 - 2	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 49. 3.29 増改築 H元. 3.31	RC造 2F	3,085.30	834.55	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室、ホール
県地区 市民センター 26-0001	赤水町 957	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 59. 9. 6	RC造 2F	1,569.20	588.12	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室

施設名 (TEL)	所在地	設置建設 年月日	構造	面積		概要
				敷地	建物延	
八郷地区 市民センター 65-0259	千代田町 267 - 1	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 56. 3.31	RC造 2F	m ² 2,425.00	m ² 669.44	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
下野地区 市民センター 37-0001	朝明町 914 - 3	設置 S. 53. 4. 1 建設 竣工 S. 52. 2.15 増改築 H 4. 3.31	RC造 2F	1,681.66	631.19	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
大矢知地区 市民センター 64-8704	下さざらい 町 1-3	設置 S. 54. 4. 1 建設 竣工 S. 63. 2.13	RC造 2F	2,475.83	685.44	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
河原田地区 市民センター 45-5020	河原田町 159	設置 S. 53. 4. 1 建設 竣工 S. 51. 3.31 増改築 H 2. 3.31	RC造 2F	1,519.39	478.50	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
水沢地区 市民センター 29-2001	水沢町 2109 - 2	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 58.10.27	RC造 2F	1,634.20	569.69	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
保々地区 市民センター 39-0001	市場町 3039 - 5	設置 S. 54. 4. 1 建設 竣工 S. 53. 3.21 増築 H 6. 7.22	RC造 2F	2,015.65	702.73	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
海蔵地区 市民センター 31-3284	大字 東阿倉川 622 - 1	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 59. 6.23	RC造 2F	2,956.75	658.69	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
橋北地区 市民センター 31-3787	新浜町 14-11	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 54. 6.12	RC造 2F	1,381.59	567.81	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
中部地区 市民センター 54-0336	西浦一丁目 8-3	設置 S. 56. 4. 1 建設 竣工 S. 54. 3.31	RC造 4F	971.45	2,386.73	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室、音楽室 美術室、茶室

地 区	平成 16 年度 「地域社会づくり」実施事業
中 部	・園児と高齢者との集い ・グラウンドゴルフ ・花いっぱい運動 ・ふれあい餅つき大会 ・ふれあいひろば(交通安全、防災活動他) ・補導パトロール ・先進地視察 ・運動会 ・スポーツ大会 ・ハイキング
富洲原	・ふれあいグラウンドゴルフ ・文化祭 ・夏祭り ・福祉年賀状 ・ジョギング大会 ・ウォークラリー大会 ・一人暮らし高齢者食事会
富 田	・体育祭 ・文化祭 ・講演会
羽 津	・ふれあいグラウンドゴルフ ・運動会 ・ソフトボール大会 ・はづ里山まつり ・文化祭 ・交通安全対策 ・野外キャンプ(小学生対象) ・花いっぱい運動 ・防災訓練 ・空き缶拾いボランティア
常 磐	・交通安全フェスティバル ・人権学習映画会 ・草花の移植 ・ホームページの開設 ・独居老人交流会 ・高齢者への年賀状 ・一人暮らし老人の集い ・高齢者講座 ・体育祭 ・ヘルスプラザ体験会 ・補導パトロール ・あいさつ運動 ・体カテスト
日 永	・ふれあいまつり ・文化祭 ・健康まつり ・ソフトボール大会 ・グラウンドゴルフ大会 ・健康づくりハイキング ・ウォークラリー大会 ・クリーンアップ日永 ・一人暮らし老人の集い(講演会・アトラクション) ・あいさつ運動 ・青少年育成講座 ・地区懇談会 ・視察研修
四 郷	・夏祭り ・文化祭 ・花いっぱい運動 ・ウォークラリー ・グラウンドゴルフ ・視察研修(環境) ・外国人との共生 講演会 ・ウオ - キング大会 ・環境美化運動(標語募集) ・キャンプ(小・中対象) ・一人暮らし高齢者給食支援
内 部	・内部川探検 ・三校・二園清掃 ・ゴキブリ団子・廃油石鹸作り ・内部川清掃 ・ヘルシー&ビューティー教室 ・歴史講演会 ・史跡を訪ねるバスツアー ・史跡めぐりウォークラリー ・凧揚げ大会 ・ブラジル・ポルトガル語講座 ・里山ハイキング ・金魚すくい大会 ・五平餅づくりと餅つき大会 ・カローリング大会 ・タスポニー講習会 ・ソフトボール大会 ・あったか訪問 ・子育て支援 こままわし ・ホームページ開設
塩 浜	・文化祭 ・冊子(塩浜まちものがたり)の発行 ・グラウンドゴルフ大会 ・さわやか体操 ・体力測定 ・テニス大会 ・ソフトバレーボール大会 ・ふれあいまつり ・ビオトープの管理
小山田	・花いっぱい運動 ・子育て支援 交流会 ・運動会 ・補導パトロール ・市内探索 ・少年院視察 ・文化祭
川 島	・福祉農園 ・鹿化川周辺整備と里山保全(ビオトープ・散策路の整備、鹿化川の水質調査) ・二胡コンサート ・文化講演会 ・グラウンドゴルフ大会 ・社明運動川島大会
神 前	・大日山整備 ・遊歩道整備 ・記念植樹 ・小留池整備 ・一斉清掃 ・花いっぱい運動 ・ふるさと冊子の編集 ・人形劇鑑賞会 ・夏休み子ども教室 ・スポーツ大会
桜	・グラウンドゴルフ ・ふれあいラジオ体操 ・ふれあいデイキャンプ ・ふれあいまちつき ・あいさつ運動 ・人権大会 ・矢合川を守る会(除草・不法投棄防止・苗木移植) ・視察研修 ・ふれあいまつり ・史跡めぐり ・健康講座

地 区	平成 16 年度 「地域社会づくり」実施事業
三 重	・花いっぱい運動 ・球技大会 ・人権学習会 ・補導活動 ・記念植樹 ・グラウンドゴルフ ・里山ウオーキング大会 ・クリーン活動 レクリエーション大会 ・子どもの健全育成 講演会
県	・花いっぱい運動 ・里山づくり ・川の清掃 ・牛乳パック回収 ・人権講演会 ・子育て講演会 ・補導パトロール ・ソフトボール大会 ・ゲートボール大会 ・グラウンドゴルフ ・綱引き大会 ・防災研修会 ・防災訓練 ・ホームページ作成 ・施設見学 ・けんけんパーク整備
八 郷	・グラウンドゴルフ ・伊坂ダムを歩こう会 ・補導活動、補導パトロール ・地区講演会 ・デイキャンプ ・花づくり講習会 ・まちづくりフォーラム ・ホームページ開設
下 野	・バリアフリーマップの作成 ・先進地視察(防災) ・ふれあい餅つき大会 ・ますつかみ大会 ・グラウンドゴルフ ・水琴窟及び周辺庭園の維持管理
大矢知	・体育祭 ・盆踊り大会 ・一人暮らし高齢者の集い ・文化祭 ・グループハイキング ・体力づくり事業 ・一人暮らし高齢者食事懇談会 ・北部ブロック駅伝 ・球技大会 ・青少年健全育成 地区懇談会 ・福祉年賀状
河原田	・町別人権懇談会 ・学童保育所と地域との交流 ・ふれあい農園 ・夏祭り ・文化祭 ・運動会 ・平和祈念祭 ・障害者ふれあいの集い ・グラウンドゴルフ大会 ・フリーマーケット ・ビーズ講習会 ・リーダー研修
水 沢	・花いっぱい運動 ・清掃 ・グラウンドゴルフ ・一人暮らし高齢者への弁当配布 ・福祉年賀状 ・茶の実の会 ふらっと ・もみじまつり ・もみじ谷の保全 ・平和祈念祭 ・里山観察会 ・青少年問題講演会
保 々	・梅林の造成と植林活動 ・菜の花栽培・普及活動 ・文化祭 ・歴史ウオーク ・歴史講演会 ・補導員研修会 ・補導パトロール ・地区懇談会 ・卓球大会 ・グラウンドゴルフ
海 蔵	・海蔵川堤防美化活動 ・海蔵川の水質調査 ・環境標語の募集 ・グラウンドゴルフ ・ニュースポーツ大会 ・運動会 ・青少年健全育成ネットワーク会議 ・補導パトロール ・補導研修会 ・花いっぱい運動 ・交通安全教室
橋 北	・グラウンドゴルフ大会 ・おもしろウオーク大会 ・ふれあいまつり ・花いっぱい運動 ・文化のまちづくり(獅子舞・和太鼓演奏) ・海蔵川堤防整備 ・ソフトバレーボール大会 ・いきがい農園
大谷台	・防災訓練 ・運動会 ・花いっぱい運動 ・清掃活動 ・補導パトロール

文化振興

最近、物の豊かさより心の豊かさを求める時代であり、人びとが充実したゆとりと潤いのある生活をおくるためには、魅力的な文化環境を整備する必要がある。

したがって、文化行政に対する市民要望に応えるため、市民自らの創作活動の場の提供や芸術文化鑑賞機会の充実を図るとともに、市民の文化活動への支援等を行い、芸術・文化活動を振興し、地域文化の創造に努める。

●文化の振興

- ・ 第32回四日市市美術展覧会…日本画部門34点・洋画部門78点・彫塑部門26点・工芸部門41点・写真部門169点・書道部門161点（総出品点数509点 入賞作品数78点）
- ・ 第54回四日市市民文化祭……総合フェスティバル、各種ホール催事・展示発表等
- ・ 第39回四日市市北部地区秋の文化祭……舞台発表・展示発表等
- ・ 平成16年度子ども芸術劇場……「ごんぎつね、宮崎駿アニメメロディー」日本音楽集団演奏会
- ・ 平成16年度四日市市文化功労者表彰……

〈茶道〉	幸田 佐恵
〈陶芸〉	黒田 耕三朗
- ・ 四日市市文化振興基金……昭和60年4月1日付で創設、平成17年3月31日現在の積立額230,196,143円
(平成16年度は、全市の文化事業及び地域文化事業に対して助成)
- ・ 第10回みえ県民文化祭……平成6年度に実施された国民文化祭によって培われたノウハウを生かし、地域文化の振興を図ることにより、文化の香り高い地域社会の形成をめざすものである。平成16年10月24日に「三重の能楽まつり」を文化会館第2ホールで開催した。
- ・ 四日市市文化振興審議会……四日市市文化振興条例が制定されたことにより文化振興ビジョンの策定を含め、文化振興に関する調査審議を行う機関として設置されたものである。16年度は5回の審議会が開催され、「四日市市文化振興ビジョン」を策定した。

生涯学習

住民自らが各種の活動に参加しながら連帯意識を醸成し、進んで地域社会づくりに参画する気風を育むための生涯学習をめざして、23地区市民センターを中心に住民活動を推進している。また、市民の学習意欲に応じて市民大学一般クラス・熟年クラスを開設するとともに、職員が出向いて市政情報を提供する「いきいき出前講座」を開設し、市民が気軽に利用できる学習機会を提供している。さらに学習情報を検索できるホームページの開設や学習情報誌の発行も行っている。

また、市民グループの自主学習や活動の場として「なや学習センター」を設置している。

● 平成16年度主要事業

(1) 生涯学習の推進

・ 生涯学習いきいき出前講座

行政全般にわたる講座メニューの中から、市民の皆さんに聞いてみたい講座をリクエストしていただき、指定された日時・場所に担当課の職員が出向いて情報を提供する制度で354件の利用があった。

・ 市民大学

[一般クラス]

市民の幅広い学習要求に応えるとともに、地域の学習活動の振興を図るため、8コースを開催した。公募による市民団体が企画運営するコースを3コース、大学機関に委託するコースを4コース、その他行政・教育課題をテーマにした講座を開講した。(受講者 370人)

- Aコース 三重大学企画「いま、医療を考える」
- Bコース 四日市大学コミュニティカレッジ企画運営「世界の中の日本」
- Cコース 四日市大学コミュニティカレッジ企画運営「身近な自然環境を考える」
- Dコース 四日市大学コミュニティカレッジ企画運営「音の不思議とCD制作現場体験」
- Eコース 市民団体企画運営「まちづくり（地域づくり）リーダー養成講座」
- Fコース 市民団体企画運営「心の健康講座」
- Gコース 市民団体企画運営「実践カウンセリング入門講座」
- Hコース 人権コース「私の思いを分かろうとするあなたは温かい」

[熟年クラス]

熟年期にふさわしい学習の場を提供し、社会参加への意欲を高めるため、「教養課程」と「専攻課程」を開設し、受講者は講座の受講のほか社会見学・音楽鑑賞会・文化祭等の行事への参加、クラブ活動での作品づくり等に励んだ。(受講者「教養課程」132名、「専攻課程」114名)

・ 地区市民センター(公民館)事業

23地区市民センターにおいて、それぞれの地域の学習ニーズに対応した学級・講座並びに地域活動を支援した。

平成16年度 地区市民センター事業別活動状況

学 級 ・ 講 座		回数	延人数
対 象 別	青 少 年	56	2,757
	女 性	30	639
	成 人	131	3,852
	高 齢 者	52	3,150
	リ ー ダ ー	35	1,690
	全 住 民	139	3,719
内 容 別	スポーツ・レクリエーション	30	2,090
	家 庭 ・ 教 育	155	9,707
合 計		628	27,604

平成16年度 地区市民センター施設利用状況

利 用 種 別	回 数	延人数
セ ン タ ー 事 業	933	27,747
サ ー ク ル 活 動	20,800	238,236
社会教育関係団体活動	3,410	74,324
そ の 他 団 体 活 動	4,412	107,619
合 計	29,555	447,926

・ なや学習センター

自主学習グループや市民活動団体に活動の場を提供した。

(平成16年度利用団体のべ2,209団体、利用者数のべ28,200人)

所 在 地…蔵町4-17

開 所…平成11年5月1日

施 設…会議室5室、音楽室1室、工学演習室1室

開館時間…午前9時～午後9時

休 館 日…毎月第2月曜日、12月29日～1月3日

文化会館

市民の文化、福祉等生活の充実、向上のため、市制施行80周年記念事業として、昭和55年9月に会館の建設に着手し、57年6月末に完成、同年8月1日にオープンした。

同館を単に受動的な貸館業務にとどめず、市民文化の普及・振興の拠点としての活用、市民本位の運営を図るため、財団法人四日市市文化振興財団を設立し、その管理運営を委託している。

● 施設概要

- ・所在地 安島二丁目5-3
- ・総事業費 48億円
- ・敷地面積 20,681m²
- ・延床面積 13,863m² (第1ホール棟 6,323m²、第2ホール棟 2,767m²
会議管理棟 2,298m² 美術展示棟 2,128m² エントランスホール347m²)
- ・建築面積 8,133m²
- ・高さ 27.6m(最高第1ホール上部)
- ・第1ホール 収容人数 1,816人、舞台：間口18m、高さ9m、奥行き18m
- ・第2ホール 収容人数 609人、舞台：間口15m、高さ7.5m、奥行き14m
- ・第3ホール(会議用) 収容人数300人
- ・第4ホール(会議・展示用) 収容人数400人
- ・展示室 第1展示室、第3展示室、第4展示室、常設展示室
- ・会議室 第1会議室、第2会議室、第3会議室、和会議室
- ・リハーサル室 第1リハーサル室、第2リハーサル室
- ・練習室 第1練習室、第2練習室、第3練習室
- ・その他 レストラン(108席)、駐車場(約400台)、会館事務室、応接室、防災センター

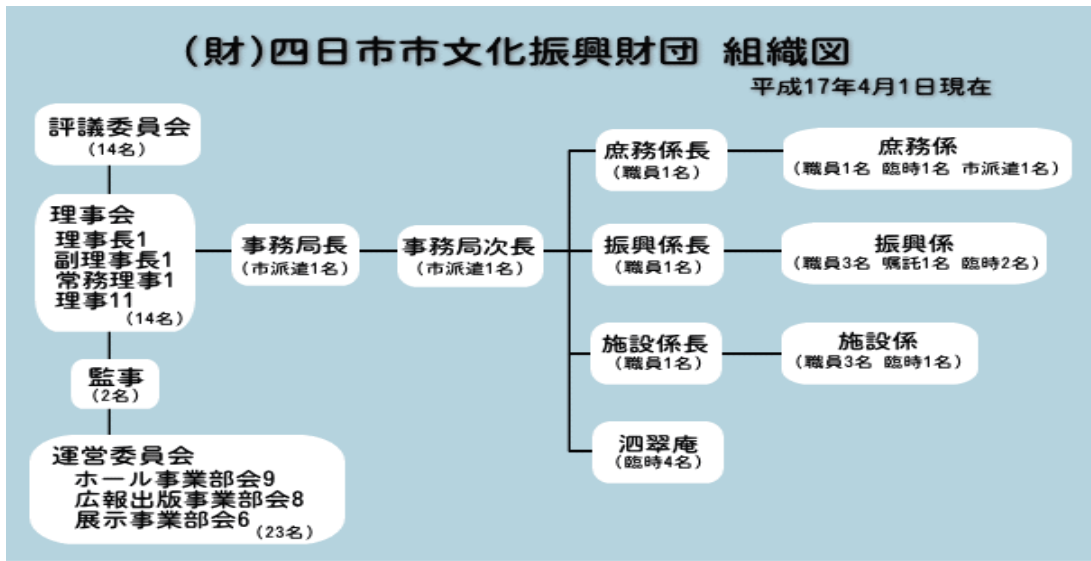
● 財団法人四日市市文化振興財団

四日市市文化会館の完成を機に、この施設の適切な管理運営とともに芸術文化の普及振興を図り、市民生活の向上に寄与することを目的として、昭和57年1月23日に設立された。基本財産は2千万円である。

当財団は、上記の目的を達成するため次の事業を行う。

- ・四日市市の委託を受けて行う文化会館の管理、運営
- ・四日市市が行う各種事業の受託及び協力
- ・市民の文化、福祉の向上及び振興のための事業
- ・その他この法人の目的を達成するために必要な事業

組織図



● 文化会館利用状況（16年度）

施設別利用状況

施設名	開館日数 (A)	利用日数 (B)	利用件数 (件)	利用率 B/A× 100 (%)	入場者数 (人)
第1ホール	273	191	153	70.0	170,705
第2ホール	273	216	195	79.1	78,595
第3ホール	316	283	385	89.6	42,111
第4ホール	317	307	669	96.8	35,501
第1会議室	317	236	303	74.4	4,770
第2会議室	317	297	586	93.7	12,468
第3会議室	317	299	537	94.3	10,223
和室	317	284	595	89.6	6,279
第1リハーサル室	317	305	569	96.2	15,818
第2リハーサル室	317	309	651	97.5	15,608
第1練習室	317	288	439	90.9	8,292
第2練習室	317	306	625	96.5	8,339
第3練習室	317	296	541	93.4	6,846
第1展示室	316	235	91	74.4	41,685
第3展示室	316	240	78	75.9	22,360
第4展示室	316	193	69	61.1	6,889
合計					486,489

●自主事業（平成16年度）

◎ホール事業

<市民の創造と参加を促す事業>

- ・ 総合舞台芸術 市民オペラ公演 「ラ・ボエーム」
- ・ 地域の特性を生かした事業まちかどコンサート（計4回）

<芸術・芸能を鑑賞する場を提供する事業>

- ・ 優れた芸術・芸能を鑑賞する事業

原信夫とSHARPS&FLATS

THE ALFEE(30th anniversary2004)

名作シネマ劇場 2004（全10回）

劇団四季公演 ミュージカル「ソング&ダンスⅡ」

ゲヴァントハウス・バッハ・オーケストラ（バロック音楽）

「女優三人みだれ咲き」公演

お母さんといっしょ ぐ〜チョコランタンファミリーステージ

レイモン・ルフェーヴァル・グランドオーケストラ

四日市能公演 能「千手 郢曲」 狂言「素襖落」

川島成道ヴァイオリンコンサート

読売日本交響楽団演奏会（ケイリン福祉コンサート）

新垣勉おしゃべりコンサート

◎展示事業

- ・ 萬古展示 「古萬古展」
- ・ 企画展 「昆虫という生きもの」
「明治から昭和初期の萬古焼」
- ・ 財団ミニギャラリー 市内在住・在勤の個人または団体による作品、収蔵品の展示（全4回）

◎広報出版事業

- ・ 文化誌の発行 ラ・ソージュ （文化展望四日市）第22号
- ・ 文化情報の提供 「催物ごあんない」 毎月発行（組回覧）

◎文化振興事業

- ・ お茶会体験講座（泗翠庵） 表千家・裏千家・遠州流・松尾流2日コース各1回
- ・ 特別講座（泗翠庵） 「煎茶の楽しみ方」
「親子体験茶会」
- ・ 市民演劇準備 17年度公演の準備
- ・ もういちど四日市で第九を歌おう 文化協会10周年記念事業への協賛

泗 翠 庵

茶道は、日本の伝統文化を代表する総合芸術として広く親しまれている。

当施設は、本市の公共茶室として、茶会はもとより、日本間を利用した各種催しに使用されている。また、伝統文化の発展・向上に加え、生活に潤いと心の豊かさを求める時代のニーズに応える施設として、広く市民に利用されるとともに、国際交流に資する施設としても活用されている。運営は財団法人四日市市文化振興財団が行い、財団主催で茶道に関する諸講座も行っている。

● 施設概要

所在地	鶉の森一丁目13-17
総事業費	約2億円(備品購入費などを含む)
敷地面積	267.8 m ²
延床面積	1,407.0 m ²

● 立礼席

営業時間	午前10時～午後4時30分
休業日	毎週月曜日(ただし、祝祭日のときはその翌日) 12月29日～1月3日
料金	一服 400円(お菓子付・税込)

● 来庵者の状況

	開 庵 日	茶 室	立 礼 席	見 学 者
13年度	304日	3,881人	6,931人	906人
14年度	303日	4,928人	6,619人	730人
15年度	308日	4,002人	6,523人	677人
16年度	309日	2,316人	6,230人	571人

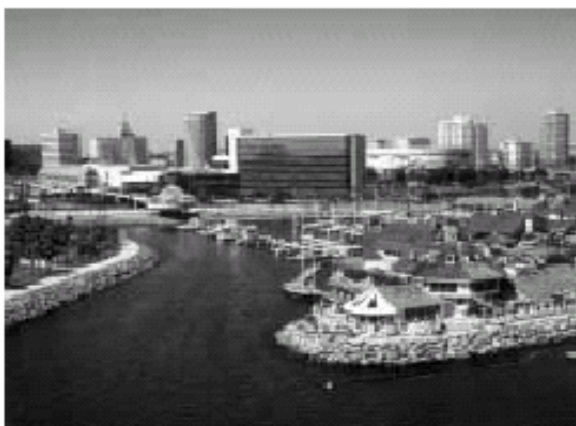
都市提携

● 米国ロングビーチ市(姉妹都市)

昭和38年10月7日、米国カリフォルニア州ロングビーチ市との間に姉妹都市提携を結ぶ。

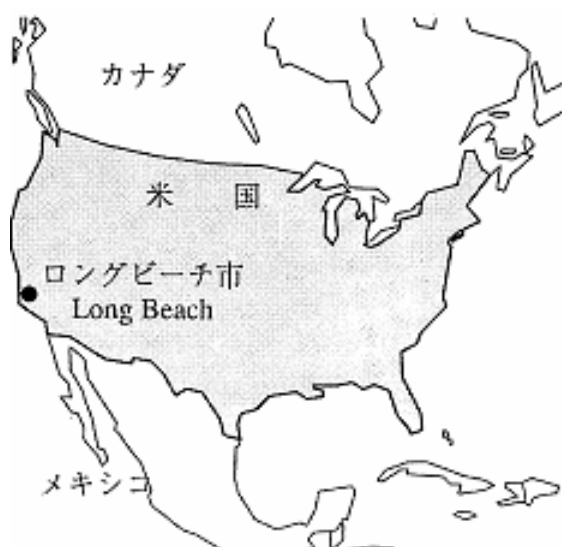
同市は、ロサンゼルス市の南約35kmに位置し、自然の立地条件に恵まれ、良港をもち、古くは、漁業中心に発達したが、大油田の発見とともに一躍石油精製などの工業都市へと発展した。

その後、航空機製造などをはじめとする重工業産業が市の代表的な産業となり、今日では、全米を代表する港湾物流をはじめ商業や観光など多種多様な産業がある。およそ10kmにもわたる美しい砂浜と、クイーンメリー、グランプリレース、そして太平洋水族館でも有名な太平洋に面した、最も美しく、発展性に富んだ国際港湾都市である。



人口	461,522人
面積	129.5km ²
平均気温	夏21.1℃ 冬12.8℃
時差	-17時間(夏期は-16時間)

同市とは、市民を中心とする国際交流活動の推進組織である四日市国際交流協会との連携による交換学生・教師の相互派遣をはじめ、7名の英語指導員の教育現場派遣、市民各界各層の相互往来等を通して交流を深めており、さらには四日市大学とカリフォルニア州立大学ロングビーチ校との交流にまで発展している。



〈平成16年度の交流事業〉

- (1) 第21回ロングビーチ市交換学生・教師派遣
(7.21~8.11)
- (2) ロングビーチ市代表団受入
(11.14~17)
- (3) 英語指導員7名招致

● 中国・天津市(友好都市)

昭和 55 年 10 月 28 日天津市との間に友好都市提携を結ぶ。

同市は北京、上海、重慶とならぶ中央直轄市（省と同格）で、北京の南東約 120 km、華北平原の東北部に位置している。古くは、名も無い一漁村であったが、13 世紀末に元朝が北京に都を定めてから、南北物資の集散地として発展してきた。

また、天津とは、天京(北京)への渡し場という意味で、北京の海の玄関口としても栄えてきた。

現在では、国際貿易港・天津新港や鉄道幹線の接点にあるなど、水陸運送の重要拠点にあり、また経済技術開発区への外国企業の進出が目覚ましく、食品・繊維・製紙などの軽工業に加え、鉄鋼・造船・自動車などの重工業、大港油田に関連した石油化学工業などを中心に中国北方最大の国際港湾工業都市として大きく発展している。



人 口	1, 0 1 1. 3 万人
面 積	1 1, 3 0 5 km ²
平均気温	夏 2 6. 4℃ 冬 - 4. 0℃
時 差	-1 時間



同市との交流は、公式訪問団相互派遣、各種専門団の往来など、文化・教育・経済・貿易・環境保護・科学技術・市政の管理運営及び都市建設などの分野において幅広く進められており、友好関係の推進を図っている。

〈平成 16 年度の交流事業〉

- (1) 天津市総工会訪日団受入 (5. 12)
- (2) 天津市対外経済貿易委員会代表団受入 (6. 29)
- (3) 四日市市代表団天津市派遣 (7. 21~23)
- (4) 天津市環境保全セミナー開催 (8. 24~26)
- (5) 天津市環境研修員受入 (10. 26~11. 7)

(財)四日市国際交流協会

財団法人四日市国際交流協会は、平成3年6月18日、市民参加の幅広い草の根交流事業を推進し、市民が国際感覚と国際理解を深め、外国人にも住みやすい「世界に開かれたまち四日市」の実現を目指して設立された。

● 組 織

- ・ 名 称 財団法人四日市国際交流協会
- ・ 所 在 地 四日市市諏訪町1番5号
- ・ 基本財産 100,000,000円(全額を四日市市が出損)
- ・ 組 織 理事会
理事長 —— 副理事長 —— 常務理事 —— 理事(8名) —— 監事(2名)
(市長) (商工会議所会頭) (市民文化部長)
評議員会
事務局

● 賛助会員制度

地域の活動の輪を広げ、より広範囲に有益な国際交流事業を運営し、事業及び運営資金面への支援を得るため、協会の趣旨に賛同する個人、団体による賛助会員制度を設けている。

会 費 (年間) 個人 一口 ¥3,000 団体一口 ¥10,000

● ボランティア制度

市民の国際交流活動を活発にするとともに、国際意識と国際理解を醸成するため、市民の協力による通訳等下記のボランティア活動を行うことを目的として、(財)四日市国際交流協会ボランティア制度を設けている。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| (1) 通訳・翻訳・日本語指導 | (2) ホームステイ、ホームビジットの受入れ |
| (3) 日本文化紹介 | (4) 機関紙編集補助 |
| (5) 協会事務局における事務補助 | (6) イベント補助 |

● 平成16年度事業概要

- ・ 異文化理解と交流の推進 …… コーヒーブレイク(月例の国際理解講座)、各国理解講座、世界の料理教室、クリスマスパーティー、新春茶会、テニス交流会、各種外国語講座等
- ・ 国際交流活動への協力 …… 地域や学校及び民間交流団体への協力等
- ・ 多文化共生の推進 …… 外国人生活相談、日本語支援、市役所窓口での通訳・文書の翻訳、外国人生徒への高校進学ガイダンス開催、外国人集住地区での啓発説明会への協力
- ・ ボランティア活動の推進 …… ボランティア活動に対する支援・協力及び研修会実施等
- ・ 広報活動と情報の提供 …… 機関紙発行、海外雑誌、新聞等の閲覧提供、ホームページ等
- ・ ロングビーチ市交換学生・教師(トリオ)派遣… 各種交流、ボランティア活動、ホームステイ等

四日市市国際共生サロン

平成2年の「出入国管理及び難民認定法」（いわゆる入管法）の改正により、日系2世・3世とその家族の滞在が認められるようになり、製造業が集積する本市でも、長期に滞在する外国人市民が増えてきた。

市内に在住する外国人市民は、8,532人（平成17年3月31日現在）で、市全体の人口の約2.8%を占めており、この10年間で2倍に増加している。そのうち約2,500人が、本市南部にある笹川団地内の独立行政法人都市再生機構の賃貸住宅で生活している。

その笹川団地内に、外国人市民と地域住民が互いの文化を理解し、尊重し合い、ともに地域で生活するパートナーとして、助け合って暮らす外国人市民との共生社会づくりを推進する拠点として、旧笹川駐在所を改築し、平成16年10月に、四日市市国際共生サロンを開設した。

1 施設概要

所在地	四日市市笹川六丁目29番地1		
敷地面積	227.5 m ²		
建物面積	76.76 m ²		
開設	平成16年10月12日		
開館	平日（月曜日～金曜日）9:00～17:00	土・日・休日、	年末年始は休館

2 主な事業

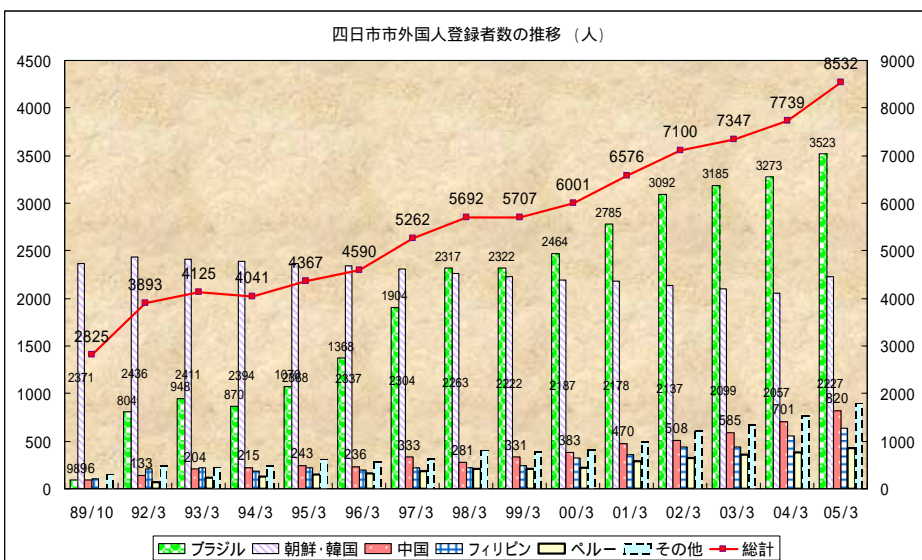
(1) 共生のための講座・教室

- ・子ども向け日本語と生活文化の教室
- ・大人向けの日本語教室
- ・生活文化伝統を伝える教室
- ・市民を対象とした言葉や文化・習慣を理解するための講座

(2) 地域行事への参加

(3) 相談事業（ポルトガル語、スペイン語）

- ・生活相談
- ・就労相談（ハローワークの協力による）
- ・無料健康相談（三重県国際交流財団の協力による）



男女共同参画施策

14年度に策定した「女性と男性のための共同参画プランよっかいち」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けてさまざまな取り組みを実施している。

15年度から引き続き、四日市市男女共同参画推進協議会において検討が進められてきた「四日市市男女共同参画推進条例（仮称）案」について、その骨子の提言を同協議会から受け、その後「四日市市男女共同参画推進条例（仮称）」の制定に向け検討を進めている。

女性センターでは、男女共同参画社会を目指す市民活動の拠点として、女性問題の解決や女性のエンパワーメントの促進に加え、男性や働く女性についても参加しやすい事業を開催した。市民や市民グループとの協働を積極的に取り組み、性別にとらわれることなく一人ひとりが自分らしく生きる社会をめざすための施策の推進と事業を行っている。

● 平成16年度事業

仕事の柱	事業名	事業内容
I 男女共同参画施策に関する事業	①四日市市男女共同参画推進条例(仮称)骨子提言	四日市市男女共同参画推進協議会を開催し、条例案骨子の作成に取り組んだ。
	②情報コーナーの充実	女性センターの情報コーナーの書籍・雑誌・ビデオテープなどの充実。
	③ファミリー・サポート・センター事業	育児を地域で援助することにより、仕事と育児を両立するなど、安心して子育てできるように支援を行っている。 平成16年度末の会員数:依頼会員367名 援助会員214名・両方会員75名 計656名 平成16年度利用件数:延べ件数 前年比1.24倍
	④調査研究委託	「女性と男性のための共同参画プランよっかいち」に基づき自主的な男女共同参画に関する調査研究を、市民グループに委託。 グループへのエンパワーメントと同時に四日市市の現況について提言を得る。 16年度は「シニア世代の男と女の生き方アンケート」を実施し、調査報告が提出された。
II 学習機会の提供および人材養成に関する事業	①「さんかくカレッジ2004」の開催	・男女共同参画のまちづくりをめざして、地域や職場、グループ活動のリーダーとしての必要な意識・スキルなどを学ぶ「さんかくリーダー養成講座」を開催した。(5回) ・21世紀職業財団との共催により、働く女性が社会の中で自分を知り、周りとの関係を考え自分らしく生きることめざす「働く女性のための自己尊重セミナー」を夜間開催した。(4回) ・ドメスティックバイオレンスについて現状と今後を考える公開講座を開催した。
	②国内会議等派遣事業	日本女性会議(10/22~10/23、松山市)への市民グループからの派遣に援助を行った。(1人)
	③女性グループ支援事業	女性問題の研究グループを支援。(3グループ)

II 学習機会の提供および人材養成に関する事業	④市民企画講座事業	男女共同参画社会を目指した企画を市民から公募し、「市民が企画した”男女共同参画推進条例づくり報告会”」（講演会 1回） 「朗読で解く樋口一葉～お札になった女文学者」（講演会 1回）を実施。						
	⑤夜間センター事業 「女性センター de しゃべら night」	気軽に立ち寄れる内容での講座を夜間にも開催し、女性センターの利用を図った。（3回）						
	⑥ジェンダーにとらわれない教育のための学習会	「これからの思春期教育」～その必要性を考える～をテーマに三泗男女共生教育研究協議会と共催して、市民と教師が共に考える講座として開催した。（1回）						
III 女性のネットワーク事業	①「つどいよっかいち女と男」の開催	「めざすは男女共同参画社会“問題は『女性と労働』です”」をテーマに、市民グループに委託し、開催した。日産自動車ダイバーシティ・デベロップメント・オフィス室長に就任し話題となった吉丸氏と日経新聞社編集委員鹿嶋敬氏によるシンポジウムのほか活動グループによるワークショップなどを行った。						
IV 相談事業	①法律相談	婦人相談員による相談の中で、特に専門性の必要なケースについて弁護士による法律相談（12回56件）を開催						
	②特別法律相談	女性のための、女性弁護士による臨時的な法律相談（4日、18件）						
	③電話相談ボランティア フォローアップ講座	女性センターで実施している電話相談ボランティアが相談業務を行うために必要な事柄を学ぶ講座（2回）						
	④電話相談ボランティア 定期研修会	電話相談ボランティアが相談業務を行うなかで生まれた問題解決のために行う実践的研修。（3回）						
	⑤相談室における相談件数							
・内容別								
DV	夫婦	親子・家庭	暮らし	こころ				
335	517	206	103	107				
人間関係	保護・更正	生き方	性・性的被害	別れた夫				
86	18	66	28	38				
仕事	体	その他			合計			
13	11	31			1,559			
・年代別								
10歳代	20	30	40	50	60	70歳以上	不明	合計
25	203	536	339	166	97	12	181	1,559

戸籍・住民記録

1. 戸籍届出件数の推移

(単位：件)

年 度	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
出 生	3,788	3,842	3,986	3,929	3,856	3,957	3,933	3,961	3,776	3,744
死 亡	2,255	2,244	2,261	2,400	2,443	2,429	2,471	2,455	2,573	2,662
婚 姻	3,514	3,574	3,479	3,497	3,656	3,600	3,580	3,429	3,383	3,197
離 婚	649	668	753	780	828	862	992	957	922	868

2. 外国人登録人口の推移

*各年度末現在

(単位：人)

年 度	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
韓 国・朝 鮮	2,337	2,304	2,263	2,222	2,187	2,178	2,137	2,099	2,057	2,227
ブ ラ ジ ル	1,368	1,904	2,317	2,322	2,464	2,785	3,092	3,185	3,273	3,523
フ ィ リ ピ ン	200	218	225	240	323	358	434	436	555	630
中 国	236	333	281	331	383	470	508	585	701	820
ペ ル ー	159	183	204	204	223	290	320	357	379	427
米 国	55	50	63	46	43	51	47	48	56	64
マ レ ー シ ア	38	21	21	21	19	23	26	28	15	20
そ の 他	197	249	318	321	359	421	536	609	703	821
合 計	4,590	5,262	5,692	5,707	6,001	6,576	7,100	7,347	7,739	8,532

住居表示整備事業

昭和 37 年に施行された「住居表示に関する法律」に伴い「住居表示整備実験都市」に指定された本市は、昭和 37 年度、まず旧市内の住居表示整備事業に着手し、順次市街地の住居表示整備に努め、平成 6 年度まで 27.876km²にわたり住居表示を実施した。

過去において四日市市は、住民基本台帳上の公称町名、不動産登記簿上の公称町名、自治会を単位とした通称町名が混同され、加えて境界が判然とせず、町界の入り組みも重なって全国でもまれにみる複雑な町界町名を有していた。しかし、住居表示整備事業の進捗とともにこの混乱は解消され、市民の日常生活はもちろん、行政事務にも多大の利便がもたらされている。

なお、平成 16 年度の建物の新・改築等による住居番号の付定件数は 523 件であった。

● 実施状況

全面積比……………13.59%

住居表示方法……………街区方式

全人口比……………37.36%

フロンテージの間隔……………15m

全世帯数比……………40.82%

総事業費……………24,565,837 円

(比率は平成 17 年 3 月 31 日現在)

実施年度	実施区域	面積	世帯数	実施状況		
				街区数	旧町	新町
37 ┌	旧市内、羽津、海蔵、橋北、浜田南部	km ²	戸			
39		5.892	13,961	784	112	58
40	富田、富洲原	3.319	7,228	418	84	20
41	羽津、海蔵、日永	3.393	4,276	295	32	23
42	羽津、内部	1.942	1,326	145	13	10
43	港、浜田、東橋北、羽津	1.984	2,125	220	18	19
44	港、浜田、共同、常磐	2.015	2,598	168	12	16
45	常磐、海蔵	2.405	1,680	156	14	17
46	日永、内部、河原田	3.125	821	85	14	10
47	日永、四郷	1.292	741	129	9	7
48	大矢知	1.660	1,117	132	6	13
52	常磐、神前	0.429	552	65	3	5
53	浜田、常磐、神前	0.413	881	76	6	5
平成 6	常磐(大字松本の一部)	0.007	28	1	1	1
合 計		27.876	37,334	2,674	324	204

※世帯数・街区数は、実施日現在

四日市地域総合会館あさけプラザ

あさけプラザは、四日市市および三重郡の住民が文化・教養・福祉・スポーツ・創作・学習・保健など様々な活動を通じて、連帯と潤いのある生活を創造する広域複合施設である。

また、子どもから高齢者まで幅広い層が利用できる各種の施設機能を持ち“ふれあいと語らいの場”として活用される施設である。

当施設は、昭和 56 年度に国の提唱する「大規模中核施設」(のちに、「田園都市中核施設」と改称)の整備計画を柱とする広域市町村圏のタウンセンターともいうべき「リージョンプラザ」(＝圏域広場)構想に採択され、57 年度に建設に着手し 59 年 7 月に完成、同年 8 月 18 日にオープンした。

なお、利用者のニーズ社会情勢の変化に対応するため、平成 7 年度から平成 8 年度にかけて増築ならびに一部改修を行い(平成 9 年 2 月完成)施設の充実を図った。

平成 10 年度より図書館においては、平日午後 5 時の閉館を 1 時間繰下げ午後 6 時とし、平成 11 年度からは三重県図書館情報ネットワークへの参加により、一層の利用者サービスの向上を図った。

また、当館自主事業(講座等)についても、時代のニーズに適した講座を適宜、加えることにより住民の学習意欲に応えるよう努めている。

● 施設概要

- ・所在地 四日市市下之宮町 296-1
- ・総事業費 約 25 億円(用地費を含む)
- ・竣工 昭和 59 年 7 月 31 日
- ・敷地面積 18,703.69 m²
- ・建築面積 4,679.44 m²
- ・延床面積 6,369.48 m²
- ・構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨コンクリート造、地上 2 階一部 5 階建

● 施設

- ・老人福祉施設……………集会室、浴室
- ・保健衛生施設……………問診室、検診室、身体測定室、機能回復訓練室
- ・図書館、学習室
- ・ホール(326 席)
- ・小ホール
- ・展示会議室(5 室)
- ・体育館
- ・創作、学習施設……………ヤングプラザあさけ、料理室、美術室、音楽室、陶芸室、茶室
- ・その他……………事務所、あさけコーナー、ロビー、屋外ステージ、奉仕作業室
- ・屋外施設……………軽運動場、ゲートボール、駐車場

● 施設利用状況

1. 有料施設

(平成16年度)

		開館日数	開館コマ数 (×3)	利用コマ数	利用率%	利用者数
ホール		301	903	320	35	23,691
体育館		301	903	798	88	25,577
小ホール		301	903	603	67	8,714
展示 会議室	1	301	903	661	73	16,279
	2	301	903	512	57	
	3	301	903	626	69	
	4	301	903	691	77	14,823
	5	301	903	671	74	
料理室		301	903	343	38	6,542
美術室		301	903	611	68	6,979
音楽室		301	903	653	72	14,663
陶芸室		301	903	296	33	1,137
茶室		301	903	406	45	3,127
学習室		301	×1 301	184	61	3,577
集会室	1	301	×1 301	95	31	1,324
	2	301	×1 301	10	3	371
合計		4,816	12,642	7,480	59	①126,804

2. 図書館

開館日数	利用者数	学習室等利用者	合計
294日	118,701人	4,910人	②123,611人

3. 老人福祉施設

集会室・浴室			ゲートボール場等		合計
開館日数	利用者数	1日平均	利用件数	利用者場数	
288日	28,830人	100人	0件	0人	③28,830

4. 保健衛生施設

区 分	開催回数	利用者数
機能回復訓練事業	301	15,290
成人健康相談事業	94	3,690
育児等相談事業及び健康審査事業	0	0
集団療育訓練事業	0	0
介護予防事業（健康相談）	12	71
そ の 他	4	1,088
合 計	411	④ 20,139

● 運動広場

開催回数	利用者数
7	⑤ 1,292 人

● 高齢者講座

開催回数	利用者数
28	⑥ 501 人

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5} + \textcircled{6} = 301,177 \text{人}$$

● 全館の状況

※ 貸館の単位は、午前、午後、夜間の3コマに分けて行っているため、
利用率＝利用コマ数÷開館コマ数で算出。（小数点以下四捨五入）

※ 学習室と集会室1、2は夜間のみ有料貸し（午前と午後は無料開放施設であり、専用貸しはしていない。）を行っている。

● 平成16年度 あさけプラザ使用料収入額

平成16年4月～平成17年3月 16,847,259 円